

# 自転車利用促進による観光振興の取り組み

～自転車視点の宇陀地域の新たな観光スタイルの創出～

H23年4月 宇陀土木事務所

## 1. 取り組みの背景

- 平城遷都1300年祭の「パーク&サイクルライド・古都りん」や地域運営の「秋の奈良レンタサイクル」の社会実験において、自転車の利用価値や観光振興に資するところを確認。
- こうした背景から、「奈良県自転車利用促進計画」が策定され、周遊観光を促進することで、観光振興や地域の活性化を図ることとしている。

### 【宇陀地域の特徴】

- ▶ 景勝地、寺院、温泉など魅力的な観光資源もあるが、広く散在
- ▶ 地域内には3つの「道の駅」があり、エリアごとの細やかな情報発信が可能
- ▶ 近鉄大阪線榛原駅は、特急停車駅であり、交通手段として車を持たない県内外の観光客にとっては宇陀観光の拠点

### 【市村の取り組み】

- ▶ 宇陀市では電動アシスト付レンタサイクルを実施中
- ▶ 他村においても自転車による観光振興を検討中

## 2. これまでの取り組み

- 観光振興を図るため、平成20年から「道の駅」を核としたドライバー向けの観光情報発信を実施し、一定の成果を確認。
- 宇陀市運営の電動アシスト付レンタサイクルと地域のイベント「宇陀松山華小路」とを連携した社会実験の結果、周遊観光のツールとしての有効性を確認。

## 3. 新たな観光スタイルの創出が求められる

- 宇陀地域においても、自転車の利用促進を図り、高原ルートと市村が策定する地域内ルートで観光スタイルを創出し、市村を支援。
- そのためには、各地域の周遊観光ネットワークの充実を図るとともに、効果的な情報発信が必要。
- 一過性のものではなく継続的な観光振興とするため、地域で継続的に取り組める手法の提案が必要。

## 4. 宇陀地域をモデルとしてチャレンジ

- 電動アシスト付レンタサイクルを用いた社会実験を実施。  
→春、夏、秋の3シーズンにおいてキャンペーンを展開  
(春:宇陀、御杖、夏:曾爾、御杖、東吉野、秋:宇陀、曾爾)
- 自転車の利用レベルに応じた利用環境を創出。  
→ハイユーザー: 県外からの誘客を狙ったイベントを実施  
→ミドルユーザー: 滞在時間の長時間化を狙ったサイクリングマップを作成  
→ローユーザー: 自転車利用への転換を狙ったレンタサイクルのPRを実施
- 各地域ごとに周遊観光ルートを設定。
- 効果的な情報発信の実施。  
→発地情報: 来訪の動機付けを狙い、チラシ、ポスター、HP等で自転車での観光スタイルをPR(鉄道駅、道の駅等)  
→拠点情報: 自転車への転換を狙い、サイクリングマップ、人的対応等でPR(地域内観光案内所、道の駅等)
- 取り組みを評価分析したうえで、取り組み手法を改善。

### ■自転車の活用に対する期待の高まり

○パーク&サイクルライド「古都りん」の調査結果  
【利用者の満足度】

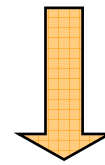
**9割以上が「満足」「やや満足」と回答。**

【奈良観光でのパーク&サイクルライドの利用意向】

**9割以上が「利用したい」と回答。**

【「古都りん」利用による観光行動の変化】

**約6割が予定外の箇所を訪訪。**



### 【自転車利用に関する社会的動向】

- ・健康志向による利用の増加
- ・観光振興のツールとして活用
- ・環境対策としての期待

### 奈良県自転車利用促進計画の策定

### ■社会実験による流入効果、周遊効果の確認

○道の駅でのドライバー向け観光情報発信

**約2割が初めて宇陀地域を訪訪と回答。**

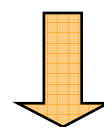
**約4割が予定外の観光ができた」と回答。**

○レンタサイクル社会実験

**約7割がレンタサイクルで再度来訪したいと回答。**

### ■新たな観光スタイルの創出により市村を支援

### 奈良県自転車利用促進計画の策定

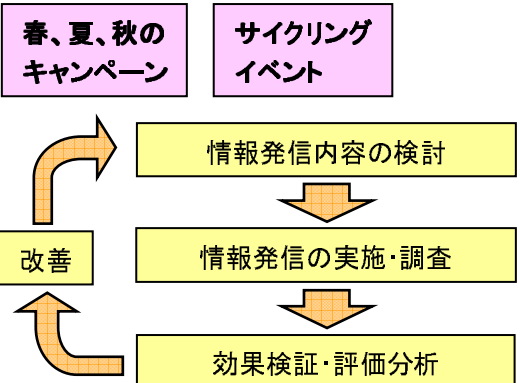


### 【市村を支援】

- ・周遊観光ネットワークの充実
- ・効果的な情報発信

### 宇陀地域の新たな観光スタイルの創出

### ■自転車利用促進を図る社会実験を実施



- ・効率的なレンタサイクルの運用
- ・継続的な観光振興施策の取り組み